2024年4月 開設

幕張キャンパス
幕張ヒューマンケア学部

健康科学科

健康と医療のイノベーションを創造できる高度な専門性を持つゼネラリストを育てます。

目標につながる4つの特色

4年間の学びを多方面からサポートする東都大学独自の教育システム。
確かな知識や技術をもとにヒューマンケアを実践できる
高度な専門性を持つゼネラリストを育成します。

1 分野横断型の教育

高度な専門性を持つゼネラリストを目指す。

医療系総合大学の強みを生かした分野横断型の教育によって、さまざまな専門知識が求められる課題に、多面的な視点で柔軟に対応できる人材「高度な専門性を持つゼネラリスト」を育成いたします。
自らの興味・関心に応じた自由な科目履修を行い、健康科学における専門的な知識を有しながら、関連する様々な分野を横断し、それらの知識を統合できる能力を育み、既存の学科の枠組みを超える創造を支援いたします。

関連病院:東都春日部病院

→ 詳しくはP10・11へ

2 徹底した少人数教育

一人ひとりと向き合い寄り添う。

4年間にわたって一人ひとりが自由な時間割を組むため、履修指導などをきめ細かく行うチューター制度を採用しています。学生自身の学修や生活をサポートし、卒業まで一貫して大学生活をサポートいたします。
また、1年次からゼミに所属し、大学での基本から、学びたい研究領域を選択、より知識を深めた研究や発表会などを通して学びを深めます。少人数だからこそできる、一人ひとりと向き合い寄り添う教育を実施いたします。

→ 詳しくはP61へ

3 編入学制度

学ぶことを後押しする。

現代社会において、人々の生活様式は多様化し、健康にかかわる人材の需要は多岐にわたります。ヒューマンケアの理念に基づく、健康科学科は老若男女、国境を越え、多種多様な人々にその門戸を開き、健康を学ぶものを全て受け入れます。
さまざまな背景の学生を想定し、より広く健康科学を学ぶことを後押しする編入学制度を採用しています。編入学は、大学卒業資格やより高い専門性、進路の変更、リカレント教育などキャリアアップが図れるのが特徴です。

4 卒業のその先まで

充実のキャリアサポート。

チューターやゼミの教員だけでなく、キャリア支援センターや外部組織などとも連携し、多彩な背景をもつ教職員が、学生の適性に応じた進路指導を行います。さらに、エントリーシートの作成や面接の練習など、就職に向けた最善の努力をしていきます。また、本学の設立母体である特定医療法人大坪会グループも、学生の就職やキャリアにおける支援を行います。そして、就職だけでなく、視野を広げ、健康科学における専門性を高めるための、大学院への進学もサポートいたします。

キャリア支援センター［幕張キャンパス］

→ 詳しくはP61へ

3つのポリシー

ディプロマ・ポリシー 学位の授与方針

教育理念及び教育目標に基づき、所定の期間在学し、卒業要件を満たす所定の単位を修得し、かつ次に掲げる能力を身につけた学生に対し、卒業を認定し、学士（健康科学）の学位を授与する。

1. **保健・医療・福祉の実践を理解し健康科学にかかわる様々な分野で知識を活用できる。**
2. **まごころと思いやりの精神に基づくヒューマンケアを理解し実践できる。**
3. **健康科学に関して情報通信技術を応用できる。**

アドミッション・ポリシー 入学者受入方針

健康科学科では、以下のようなアドミッション・ポリシーを設定している。

- **学力／高等学校などで十分な教育を受け、幅広い基礎学力を持っている人**
- **関心／ヒューマンケアに基づく健康科学に関心のある人**
- **意欲／新しい事柄に興味をもち、知識を習得する意欲がある人**
- **行動／物事を論理立てて考え説明でき、責任感を持って誠実に行動できる人**
- **人間関係／人とのかかわりに関心があり、他者への慈しみの心を持っている人**
- **コミュニケーション／協調性をもち、主体性をもって他者との意見交換ができる人**

カリキュラム・ポリシー 教育課程の編成・実施方針

本学科ではディプロマ・ポリシーに則った人材を育成するために、教育課程を【基礎分野】【専門基礎分野】【専門分野】で構成し、以下のようなカリキュラム・ポリシーを策定する。

●基礎分野

(1) 生命の倫理・人間の尊厳を幅広く理解する。
(2) 科学的・論理的思考力を育成する。

●専門基礎分野

(3) 人体の構造・機能を系統的に理解する。
(4) 健康科学に必要な医学的基礎:医学に関する多彩な領域の基礎を学ぶ。
(5) 健康科学に必要な情報学的知識:情報学の基礎技術を学ぶ。

●専門分野

(6) 健康科学を理論的に理解し、系統的に捉える能力を涵養し、実践する能力をつける。
(7) 健康と人の間を理解し、結びつける力を涵養する。
(8) 多岐にわたる医療的知識を融合させ、健康科学として発展。実践する能力をつける。
(9) 社会的ニーズの多様化に対応した創造力・実践力を身につける。

Curriculum

健康科学科で高度な専門性を持つゼネラリストを目指す

ヒューマンケアを基盤とする特色あるカリキュラム

赤文字：必修科目
黒文字：選択科目

幕張ヒューマンケア学部の各学科140科目以上から自由に履修可能

1年次　2年次　3年次　4年次

健康科学に必要な専門科目群

〔健康科学の基礎〕
健康科学概論　健康科学演習Ⅰ　健康科学演習Ⅱ　科学リテラシー　英語表現とプレゼンテーション　比較文化論

〔健康科学の応用〕
健康科学キャリア入門　健康科学キャリア開発　現代情報論　健康科学研究方法　健康科学倫理　科学技術フロンティア
健康科学技術開発概論　健康科学技術開発演習　健康科学教育　非営利活動概論　人的資源と組織論　審美健康科学概論
ファイナンシャルプラン概論

〔健康科学の発展〕
基礎看護学概論　生活科学　小児看護学概論
成人看護学概論　高齢者看護学概論
リプロダクティブヘルス看護学概論
公衆衛生看護学概論　地域包括ケア概論
精神看護学概論　地域･在宅看護学概論
産業看護活動論　地域母子保健　救急看護
国際医療協力

理学療法概論　運動療法学　日常生活動作学
義肢装具学　物理療法学　運動器系理学療法学
神経系理学療法学
内部障害系（循環器系）理学療法学
内部障害系（代謝系）理学療法学
スポーツ理学療法　ウィメンズヘルスケア
障害者スポーツ　小児理学療法
ユニバーサルデザイン･バリアフリー論
産業健康増進理学療法学

生体物性工学　医用機械工学　生体計測装置学
医用機器学　医療情報処理技術
医療情報システム　情報通信ネットワーク
医療用IoT概論　医療用IoTセキュリティー
医用画像診断装置学　体外循環療法学
血液浄化療法学　呼吸療法学
医用画像情報処理技術　人工知能（AI）
医用ロボティクス　人工臓器概論

◉備考
必修単位21単位を含み40単位以上／「健康科学の応用」必修5単位を含み8単位以上／「健康科学の発展」12単位以上を含むこと

〔健康科学の展開〕

1年次		2年次	3年次	4年次
健康科学ゼミ入門	健康科学ゼミⅠ	→ 健康科学ゼミⅡ	→ 健康科学ゼミⅢ	→ 健康科学ゼミⅣ

健康科学に必要な基礎科目群

〔人体の構造及び機能〕
身体の構造･機能Ⅰ　身体の構造･機能Ⅱ　身体の構造･機能Ⅲ　病理学　生化学

〔健康科学に必要な医学系基礎〕
医学概論　薬理学　リハビリテーション概論　看護学概論　医療工学入門　臨床検査学概論　感染と免疫　保健統計　労働衛生関係法規
健康障害の回復と支援　遺伝と健康　先進医療　医療経済入門　医療政策論入門　終末期医療論　細胞学　組織学　老年学
医療制度と関係法規　栄養学特論　医療栄養学　公衆衛生学

〔健康科学に必要な情報系基礎〕
情報科学概論　情報機器の理解　情報リテラシー　パソコン基礎演習

◉備考
必修科目14単位を含み20単位以上

ヒューマンケアの基礎科目群

〔1年生必修科目〕ヒューマンケア概論　大学入門講座

〔人間と生活〕
心理学　コミュニケーション論　社会学　人間の生き方　哲学　社会福祉論　倫理と医療　法律と医療　文化とアート
医療と看護の歴史　カウンセリング論　論理学入門　千葉近代史と人々の営み　スポーツ健康科学Ⅰ　スポーツ健康科学Ⅱ
法学（日本国憲法を含む）

〔自然科学の理解〕
数学の基礎　数学Ⅰ　数学Ⅱ　生物学　生物Ⅰ　生物Ⅱ　生命理解のための化学　化学　化学Ⅰ　化学Ⅱ　物理学入門　物理Ⅰ　物理Ⅱ
統計学入門　確率統計学入門

〔異文化理解〕
英語Ⅰ　英語Ⅱ　英語Ⅲ　英語Ⅳ　科学英語　医療英語　中国語　フランス語

◉備考
必修科目4単位を含み20単位以上／「人間と生活」必修2単位を含み4単位以上／「自然科学の理解」必修1単位を含み4単位以上／
「異文化理解」必修1単位を含み2単位以上

卒業研究

幕張キャンパス
幕張ヒューマンケア学部

健康科学科

Pick up Lesson!

健康科学技術開発演習

健康科学に必要な専門科目群

本講義では、人々の生活における健康にかかわる科学技術に関して、実例を学び開発を行うプロセスや思考過程を理解していきます。グループワークを通して、健康科学における技術開発の案を作成し、ディスカッションを行い、学びを深めていきます。

現代情報論

健康科学に必要な専門科目群

現代社会において、「情報」は多岐にわたり、提供方法やアクセス方法は千差万別です。本講義では、現代における情報とは何かを学び、様々なメディアや手法を通してわかりやすく伝えられることを目標に演習やディスカッションを行います。

《1年次から継続した少人数ゼミ》

1年次前期	1年次後期	2年次	3年次	4年次	
健康科学ゼミ入門 →	健康科学ゼミⅠ →	健康科学ゼミⅡ →	健康科学ゼミⅢ →	健康科学ゼミⅣ	卒業研究
健康科学科で身につけられる専門性を学びます。	学習や研究の方向性を考え、専門基礎科目や専門科目の履修を主体的に学びます。	より専門的な学びを深め、自身の興味や学びに結び付け、ヒューマンケアの概念や保健・医療・福祉に関連した理解を深めます。	健康科学における興味・関心領域の研究体系を理解し、学生の主体的な態度を形成していきます。	より専門的な知識とスキルを獲得し、ほかのゼミとの交流やディスカッションにより知見を深めていきます。	大学での学びを総括する位置づけとして、それぞれのテーマについて理論、実験、調査などの研究を行います。その成果は卒業研究発表会で発表し、卒業論文としてまとめます。

在学中に取得を目指す資格

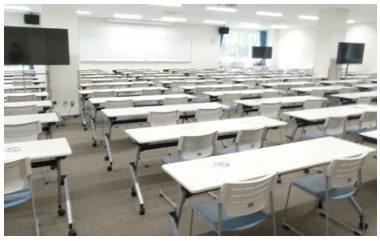
- 介護職員初任者研修（本学で取得可能）
- 医療事務／介護事務／調剤薬局事務（外部と連携）
- ファイナンシャルプランナー（2級・3級）
- 簿記（2級・3級）
- ITパスポート
- Microsoft Office Specialist

学部長からのメッセージ　専門基礎分野 教授　根本 清次

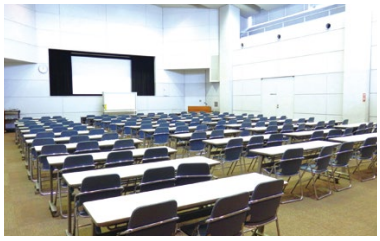
東都大学では「真心と人間愛」という、ヒューマンケアの考え方を教育理念の根幹に据えて運営をしてまいりました。幕張ヒューマンケア学部においてもヒューマンケアの実現に向けて、看護学科、理学療法学科、臨床工学科という異なる3つの学科が設けられております。これらの3学科では、それぞれ看護師、理学療法士、臨床工学技士および情報系エンジニアの養成が行われています。看護学科と理学療法学科では、すでに卒業生を輩出し、医療施設を中心に貢献を開始したところであります。このような幕張ヒューマンケア学部ではありますが、いままでとは趣の異なる第4の学科新設が決定いたしました。学科名は「健康科学科」で、もちろんヒューマンケアの理念は同様でありますが、国家資格の養成は行わず、学生本人の目的に沿った学習計画に基づき、幕張ヒューマンケア学部の豊富な科目群より構成される科目の履修による健康科学のゼネラリストを目指します。さらに本学科では健康科学に関わる医療機関、関係企業等に対応したキャリア開発を正規科目に加え、卒後の健康科学分野の第一線での活動を支援します。

施設＆設備

高度な技術を修得するための充実した施設・設備



講義室1-D



講義室2-F

《少人数から多人数まで対応する講義室》
60名収容の教室から120名を収容できる大教室まであり、学生が充実した授業を受けられる環境が備わっています。ヒューマンケアの理念に基づき専門職として必要な知識を習得する授業が行われています。

学生食堂
昼食時は多くの学生が利用しています。日替わりランチや、カレー、麺類など、豊富なメニューが手頃な価格で提供されます。授業の合間の息抜きの場としてもご利用いただけます。

図書館
医療関係の専門書や雑誌、DVDなど多くの資料を備えています。資料の貸出し・閲覧以外にも、レポートや試験勉強を行うための学習スペース、視聴覚資料閲覧コーナーが設けられており、多くの学生が利用しています。

学生ロビー
東館エントランス付近にある、学生や教職員が自由に使えるスペースです。昼食時や空き時間にリラックスしたり、自習スペースとして活用したりすることが可能です。

学費　幕張ヒューマンケア学部 健康科学科

1年次の納入金	入学金(入学時のみ)	250,000円
	災害保険料(入学時のみ)	4,140円
	学生会費(入学時のみ)	4,000円
	授業料(1年次前期分)	400,000円
	実験実習費(1年次前期)	50,000円
	施設費(1年次前期)	150,000円
	入学手続時納入金合計	858,140円
	授業料・施設費・実験実習費(1年次後期)	600,000円
1年次の納入金 合計		1,458,140円

2年次の納入金 授業料・施設費・実験実習費	1,200,000円
3年次の納入金 授業料・施設費・実験実習費	1,200,000円
4年次の納入金 授業料・施設費・実験実習費 同窓会費	1,200,000円 20,000円
合計	5,078,140円

目指す進路

- 医療機器メーカー
- 医療材料サプライヤー
- 病院事務
- 健康・医療関連出版社
- 保険会社
- 健診団体事務
- 医療情報発信企業
- 行政職員

など